



SPORTS JAPAN PROJECT

スポーツ振興くじ(toto・BIG)の運営・販売元である独立行政法人日本スポーツ振興センターは、その収益によってアスリートの育成や身近な地域のスポーツ活動などに対して多くの助成を行っています。

つまごいスポーツクラブ(嬭恋村)

2011年に発足した総合型地域スポーツクラブ。「人が集い、仲間とつながり、みんなが元気になる」をモットーに、バスケットボールやミニバス、スポーツ吹き矢、クラシックバレエ、ヒップホップダンスなど、未就学児からお年寄りまで幅広くスポーツや交流を楽しめるよう活動している。水泳教室やノルディック・ウォーキング教室など不定期の教室も。参加登録者は約120人ほど。



7、8月限定で開催した、初心者対象のヨガ教室。2016年4月からレギュラーのプログラムに。



クラシックバレエ教室



リトミック教室



ヒップホップダンス教室幼児クラス



フラメンコ教室

Love Sports GUNMA

vol.6

群馬県内で助成を受けたスポーツクラブや施設を、全9回シリーズでご紹介。今回は嬭恋でスポーツを楽しむクラブを取材しました。

群馬県内で助成を受けたスポーツクラブや施設を、全9回シリーズでご紹介。今回は嬭恋でスポーツを楽しむクラブを取材しました。5年目の現在は、参加者の会費のみでの自立を目指しています。助成費は当初の3分の1程度で運営できるようになりました。未就学児、小学生が多いのが特徴で、運営スタッフも含めて「若いスポーツクラブ」と評価されています。これからはより多くの方に楽しんでいただけるよう、大人向けのプログラムも増やしていきたいですね。



つまごいスポーツクラブ事務局長兼クラブマネージャー代表

百崎和子(ももさき・かずこ)さん

中学からバスケを始め、実業団で活躍。夫とともに住宅会社を経営しながら、2011年より「つまごいスポーツクラブ」を立ち上げて運営している。

世代を超えてスポーツを楽しむ!

■外に出て思い切り体を動かす場づくり

百崎 もともとバスケットボールの選手で、実業団で活動していました。嬭恋村に移住後、誰もが気軽にスポーツを楽しめる地域に根差したスポーツクラブを立ち上げたいと考え、所属していた体育指導員らの協力やtoto・BIGの助成を受けてスタート。当初の2年間を土台作りとし、助成費はスポーツ用品の購入、指導員への謝金、募集広告などに用いました。



助成金でユニフォームをそろえた

【インディアカクラブ】

■楽しみながら汗を流すのが長く続けるコツ

黒岩尚子さん 仲間たちと13年前に結成しました。インディアカはバドミントンのコートを使い、ルールはバレーボールと同じです。初心者でも手軽にでき、楽しみながらプレーできます。県大会への出場が、励みになっています。



下谷照代さん

週1回の練習で思い切りストレスを発散し、良い汗をかくのが習慣になりました。この時間だけは家族も「お母さんの大切な時間」と理解し、協力してくれています。

チーム名「エトランジュ」はフランス語で「不思議な」という意味です

最高のストレス解消法です!



黒岩尚子さん



下谷照代さん

★もっと助成活動について知りたい方は

SPORTS JAPAN PROJECT

検索

企画・制作/上毛新聞社 東京支社